



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	06-3260-4	版	12.00
発行日	2023/03/24	前発行日	2021/08/27

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3MTM マリーンワンステップ洗淨ワックス 9009, 9011

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

船舶用

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分 4

発がん性： 区分 1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分 1

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

健康有害性

ピクトグラム

**危険有害性情報**

H227	引火性液体
H350	発がんのおそれ
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 呼吸器

注意書き**一般：**

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。

応急措置

P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P314	気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403	換気の良い場所で保管すること。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	30 - 50
焼成カオリン	92704-41-1	5.0 - 10

カルナバワックス	8015-86-9	< 5.0
モンタン蠟	68476-03-9	1.0 - 5.0
修飾シリカ	63148-62-9	< 5.0
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	64742-56-9	< 0.5
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	64742-55-8	0.18
水素化軽質石油留分	64742-47-8	14
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64742-65-0	0.74
酸化チタン(IV)	13463-67-7	0.10
トリポリ（結晶性シリカ）	1317-95-9	17

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗淨する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗淨する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗淨を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気での場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 密閉容器に収納する。 洗剤と水で残さを清浄にする。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

密閉された換気不良の場所で使用しないこと。 子供の手の届かないところに置くこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 指定された個人保護具を使用する。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
結晶性シリカ（吸入性粉塵）	1317-95-9	JSOH OELs	CEIL（吸入性粉塵として）：0.03mg/m ³	1：ヒトに対して発がん性がある。
トリポリ（結晶性シリカ）	1317-95-9	ACGIH	TWA（吸入性分画）：0.025mg/m ³	A2：ヒトに対して発がん性が疑われる
不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	ISHL	TLV（計算値）（ダストとして）（8時間）：0.025mg/m ³	100%と仮定して計算

不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m ³	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m ³ ;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m ³	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (推奨)(8時間):0.3mg/m ³	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
ケロシン (石油)	64742-47-8	ACGIH	TWA (トータル炭化水素蒸気、非エアロゾルとして) : 200 mg/m ³	A3: 確認された動物発がん性因子, 経皮吸収性
オイルミスト、ミネラル	64742-55-8	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
鉱物油、高精製油	64742-56-9	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 5 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
鉱物油、高精製油	64742-56-9	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
オイルミスト、ミネラル	64742-56-9	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
オイルミスト、ミネラル	64742-65-0	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質: 樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态：	ペースト
色	ベージュ。、褐色
臭い	中性溶剤
臭いの閾値	データはない。
pH	7.8 - 8.4
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	76.7 - 100 °C
引火点	65.6 - 76.7 °C [試験方法：クローズドカップ法]
蒸発速度	>=1 [参照基準：水=1]
引火性（固体、ガス）	適用しない
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	>=1 [参照基準：空気=1]
密度	1.07 g/ml
比重	1.07 [参照基準：水=1]
溶解度	中程度
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	15,000 - 25,000 mPa-s
揮発性有機化合物	231 g/l [試験方法：SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発性有機化合物	14.7 重量% [試験方法：カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出]
揮発分	68.1 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	461 g/l [試験方法：SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
毒性蒸気、微粒子

条件

特段の規定はない。
特段の規定はない。
特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

珪肺症： 切迫呼吸、持続性のせきなどの症状。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション 3 に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
トリポリ（結晶性シリカ）	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
トリポリ（結晶性シリカ）	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
水素化軽質石油留分	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化軽質石油留分	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 12 mg/l
水素化軽質石油留分	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
焼成カオリン	皮膚	類似化合物	LD50 > 5,000 mg/kg
焼成カオリン	経口摂取	類似化合物	LD50 > 5,000 mg/kg
修飾シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 19,400 mg/kg
モンタン蠟	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
モンタン蠟	経口摂取	ラット	LD50 > 15,000 mg/kg
修飾シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 17,000 mg/kg
カルナバワックス	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
カルナバワックス	経口摂取	ラット	LD50 > 8,800 mg/kg
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	吸入－粉塵 /ミスト（4 時間）	ラット	LC50 > 4 mg/l
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	吸入－粉塵 /ミスト（4 時間）	ラット	LC50 > 4 mg/l
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	吸入－粉塵 /ミスト（4 時間）	類似化合物	LC50 > 5.53 mg/l
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	経口摂取	類似化合物	LD50 > 5,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵 /ミスト（4 時間）	ラット	LC50 > 5.09 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トリポリ（結晶性シリカ）	専門家による判断	刺激性なし
水素化軽質石油留分	ウサギ	軽度の刺激
焼成カオリン	ウサギ	刺激性なし
モンタン蠟	ウサギ	刺激性なし
修飾シリカ	ウサギ	刺激性なし
カルナバワックス	専門家による判断	刺激性なし
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	類似化合物	刺激性なし
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	ウサギ	わずかな刺激
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化軽質石油留分	ウサギ	軽度の刺激
焼成カオリン	ウサギ	刺激性なし
モンタン蠟	ウサギ	刺激性なし
修飾シリカ	ウサギ	刺激性なし
カルナバワックス	専門家による判断	刺激性なし
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	類似化合物	刺激性なし
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化軽質石油留分	モルモット	区分に該当しない。
モンタン蠟	マウス	区分に該当しない。
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	類似化合物	区分に該当しない。
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	モルモット	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
トリポリ（結晶性シリカ）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
トリポリ（結晶性シリカ）	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

モンタン蠟	In vitro	変異原性なし
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	In vitro	変異原性なし
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	In vivo	変異原性なし
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
トリポリ（結晶性シリカ）	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
モンタン蠟	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
モンタン蠟	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
モンタン蠟	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トリポリ（結晶性シリカ）	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
焼成カオリン	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	類似化合物	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	皮膚	造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 5,000 mg/kg/day	3 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
水素化軽質石油留分	誤えん有害性
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	誤えん有害性
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場

合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
焼成カオリン	92704-41-1	バクテリア	推定値	16 時間	EC10	1,400 mg/l
焼成カオリン	92704-41-1	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
カルナバワックス	8015-86-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
モンタン蠟	68476-03-9	嫌気性汚泥	実験	24 時間	NOEC	2,500 mg/l
モンタン蠟	68476-03-9	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>500 mg/l
修飾シリカ	63148-62-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	64742-56-9	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	96 時間	LL50	>100 mg/l
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	64742-56-9	緑藻類	推定値	72 時間	EL50	>100 mg/l
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	64742-56-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	>100 mg/l
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	64742-56-9	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	100 mg/l
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	64742-56-9	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	100 mg/l
水素化精製軽	64742-55-8	ファットヘッド	推定値	96 時間	LL50	>100 mg/l

質パラフィン油 (石油)		ドミノウ (魚)				
水素化精製軽質パラフィン油 (石油)	64742-55-8	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	>100 mg/l
水素化精製軽質パラフィン油 (石油)	64742-55-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	100 mg/l
水素化精製軽質パラフィン油 (石油)	64742-55-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	10 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	ニジマス	推定値	96 時間	LL50	>1,000 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	1,000 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	1 mg/l
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64742-65-0	緑藻類	類似コンパウンド	96 時間	EC50	>100 mg/l
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64742-65-0	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	>100 mg/l
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64742-65-0	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64742-65-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	金魚	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限	>100 mg/l

(IV)					界において毒性は見られない	
酸化チタン (IV)	13463-67-7	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ゼブラフィッシュ	実験	23 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
トリポリ (結晶性シリカ)	1317-95-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
焼成カオリン	92704-41-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
カルナバワックス	8015-86-9	モデル 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	96 C02発生量/理論C02発生量%	Catalogic TM
モンタン蠟	68476-03-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
修飾シリカ	63148-62-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	64742-56-9	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	31 %BOD/ThOD	OECD 301F
水素化精製軽質パラフィン油 (石油)	64742-55-8	推定値 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	22 C02発生量/理論C02発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
水素化軽質石油留分	64742-47-8	推定値 生分解性	28 時間	生物学的酸素要求量	22.4 %BOD/ThOD	OECD 301F
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64742-65-0	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	23 C02発生量/理論C02発生量%	OECD 301B類似法
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トリポリ (結晶性シリカ)	1317-95-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
焼成カオリン	92704-41-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
カルナバワックス	8015-86-9	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	7.4	Catalogic TM
モンタン蠟	68476-03-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
修飾シリカ	63148-62-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソルベントー石油精製軽質パラフィン	64742-56-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化精製軽質パラフィン油（石油）	64742-55-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化軽質石油留分	64742-47-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64742-65-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン（IV）	13463-67-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トリポリ（結晶性シリカ）	1317-95-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法：施行令別表第 6 の 2 有機溶剤

消防法：指定可燃物（可燃性液体類）

労働安全衛生法：令和 4 年厚生労働省告示第 371 号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
水素化軽質石油留分	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	鉱油	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当
トリボリ（結晶性シリカ）	結晶質シリカ	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

セクション 1：製品用途 情報の追加。

セクション 2 : GHS分類 情報修正.
セクション 2 : 注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション 3 : 成分表 情報修正.
セクション 5 : 火災時情報 (消火剤) 情報修正.
セクション 8 : mg/m³ 記号 情報の追加.
セクション 8 : 作業環境許容値 情報修正.
セクション 8 : ppm 記号 情報の追加.
セクション 8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション 8 : 皮膚保護—偶発的な接触 情報の削除.
セクション 8 : 皮膚保護—偶発的な接触 追加 情報の削除.
セクション 9 : 燃焼性 (固体、ガス)情報 情報修正.
セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 吸引毒性の表 情報の追加.
セクション 11 : 吸引ハザード 情報の削除.
セクション 11 : 発がん性の表 情報修正.
セクション 11 : 生殖細胞変異原性の表 情報修正.
セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 12 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 12 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 14 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 15 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
セクション 15 : 法規名 - 表 情報の削除.
セクション 15 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項: この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。